市政ニュース

例市議会

議会の開会にあたり、市長は十月から十二月までの市政の経過と現状を次のように報告しました。

姉妹都市交流

十月十六日から十八日までの三日間、ふるさと祭りへの参加を中心に総勢九十五名が岩沼市を訪問し、一日市長講演会をにじめ、青年の意見交換会、サッカーの交流試合、ふるさと祭りでの観光物産コーナー開設とステージの市民タイムなど、多彩な催しで交流を深めました。

また、十月から十一月にかけては、双方で開かれた美術展にそれぞれの代表作品が多数展示されるなど芸術文化面での交流も図られました。

なお、十月十二日から十二月十二日までの予定で、同市間の職員交流が実施されております。

高知空港用地

現在、空港本体周辺の現地測量が行われています。地元の協力により既に境界立会を終え、本年度内には測量が完了する見通しです。

営農対策として、県空港整備事務所では代替地斡旋協力員を四名委嘱するとともに、十一月一日付けで三名の職員を増員するなど体制を強化し、代替地の確保に向けて、現在、個別交渉に入っています。

また、十一月十五日に開催された県と九市の連絡協議会で、県当局から基金創設の協力要請がされましたが、今後はその動きも十分考慮に入れながら取り組んでいきます。

都市基盤整備

都市計画事業については、大埇地区の三十ヘクタールでは、中心市街地にふさわしい快適な居住環境整備を目指し、岡豊地区の五十ヘクタールでは、市北部地区の産業業務機能や工業の集積に伴う就業者住宅の確保という視点から、住宅団地開発を目指していきます。

地域住宅計画、いわゆるHOPE（ホープ）計画については、市の歴史、文化、産業及び自然等の特性に根ざした住宅政策を検討し、もって創意に満ちたまちづくりに資することを目的としており、先頃、整備計画策定委員会及び幹事会を設置しました。

本年度は、地域の特性を踏まえた質の高い居住空間の整備計画策定を目指して取り組んでいます。

住居表示については、駅前町一丁目、日吉町三丁目としての原案を作成し、地元関係者の協力をいただきながら平成六年二月一日の実施に向けて作業を進めています。

公共下水道は、現在、処理区域内の接続可能件数約五百件の内百六十件が接続済みであり、三十二パーセントの水洗化率となっています。

新たな工事としては、第一処理分区の野中第一汚水幹線・枝線、第三処理分区の後免、篠原、西窪分区の幹線・枝線を発注しました。

また、十市パークタウンにおいては、現時点で二百七十件が水洗化されていますが、県住宅供給公社の分譲の進展に対応して十市浄化センターの汚泥処理棟増設の発注をしました。これらの事業については年度内完了に向けて全力で取り組んでいきます。

生活環境

し尿処理施設整備事業については、無事起工式を終えました。今後、工事の順調な進捗を図り、平成八年三月の竣工を目指していきます。

なお、地元関係団体とは一部協議を残していますが今後全力を傾注して早期の合意を目指していきます。

農林業

岩村地区のほ場整備事業については、担い手育成基盤整備事業としての平成六年度事業採択を目指し、十一月十五日には正式に申請書を提出しました。

現在、土地改良区の組織化など、地元や関係機関と協議を行いつつ、実務を進めています。浜改田地区の農業集落排水事業については、平成六年度事業の採択を得られるよう、十一月十八日、農林水産省へ県とともに陳情を行いました。

十二月定

折林業構造改善事業による外山地区簡易給水施設については、この度、成合地区に続く平成五年度の事業化が可能となりました。

農協合併は、平成六年七月一日発足を目途に合併研究協議会で協議を重ねてきましたが、十一月十五日、四農協による合併推進協議会が発足しました。

合併推進協議会は当面四農協で発足していますが、近い将来五農協の大同合併を目標に推進を図ります。

同和対策

改良住宅建設工事については、三区南及び小山市営住宅建替工事の十六戸中の七戸を発注し、現在建設中です。

小山市営住宅建替に係る仮設住宅は、運動公園用地に建設を完了しましたので、十二月第一週を目途に移転入居を終え、既存の住宅取り壊しの上、残る九戸の建設に着手する計画です。

商工観光

オフィス・アルカディア事業については、地域振興整備公団の事業化に向け、地元調整に鋭意努力を傾注しております。

南国勤労者体育施設は十月七日に起工式が行われ、延床面積七百二十二平方メートルの体育館建設と駐車場の整備が進んでいます。

中小企業に働く人たちの健康増進に資することを目的とし来年三月の完成を目指しています。

保健福祉

保健行政について厚生省新規事業の「健康文化と快適なくらしのまち創造プラン事業」は「健康文化都市推進協議会」を設置して取り組んでいますが、十月二十一日、全国十八カ所の一つとして指定を受けました。これを受けて、「健康ライフプラン策定委員会」を設置し、「健康文化都市南国」の基本計画策定に取り組んでいます。

福祉関係については、平均寿命の著しい伸びなどにより、急速な高齢化が進むなか、前月には当市初の老人保健施設「ケアポート南国」が開設され、また来年五月には二カ所目の老人保健施設「夢の里」が開設される計画となっています。

教育文化

生涯学習まちづくり推進事業の人材バンクについては、百四十二名の登録があり、各部門の登録者数は、教育一般部門二十五名、人文社会科学部門七名、自然科学部門六名、芸術文化部門四十八名、体育スポーツレクリエーション部門二十一名、家庭生活・趣味部門十九名、市民生活・国際関係部門六名、産業技術部門十名となっています。現在人材バンク名簿を作成し、関係機関に配布するよう作業を進めています。

保健

あなたの足は健康ですか？

健康づくり講演会

演題：『足の裏から健康づくり』

講師：辻　博明

（岡山県立短期大学助教授）

足の衰えは、昔から言われているように自分のからだの衰えを現しています。高齢の方でも若者に引けを取らない体力があったりする一方で、現代の生活様式では若い人に衰えが見られます。

めずらしいピドスコープ（足の裏健康測定装置）を使った講演を、ぜひお聞きください。

◪とき　2月5日（日）
午後1時30分～3時30分

◪ところ　南国市保健福祉センター

※入場料は無料です

◪当日の催し物（午後12時～4時）
○ピドスコープ（足の裏健康測定装置）
○ミニ健康展（成人病予防食試食・クイズ）
あなたも健康クイズに挑戦してみてはいかがですか？正解者には粗品を進呈します。

主催　高知県中央保健所
南国市

共催　南国市健康づくり推進協議会
南国市食生活改善推進協議会
南国市健康文化都市
健康ライフプラン策定委員会
南国市社会福祉協議会
南国市老人クラブ連合会

後援　大篠地区健康づくり推進会

※お問い合わせは南国市保健福祉センター（☎63 7373）まで